

兵庫県最先端技術研究事業（COEプログラム） 研究結果概要

□研究プロジェクトの概要

研究プロジェクト名	他国同年代との国際交流におけるEdTechを用いた学生の成長度の可視化
代表機関	株式会社With The World
共同研究チーム構成機関	国立大学法人神戸大学
研究分野	英語教育学・心理言語学・教育工学

□研究結果の概要

【①研究プロジェクトの概要、特色】

本研究は株式会社With The Worldが展開する国際交流プログラムの外国語コミュニケーション能力育成に対する有効性について、動画データの多面的分析・評価により検証し、教育プログラムの評価システムを構築しようとするものである。活動中心に展開するプログラムの有効性を科学的に実証しようとする点、プログラムに関わるさまざまな要素（指導計画、参加者間のやり取りなど）に基づき、パフォーマンスの動的変容を分析する点などに特色がある。

【②研究の成果】

高校生対象の5日間集中プログラムの動画データを分析した結果、発話の正確さにはあまり変化は見られないが統語的複雑さが増すこと、また、プレゼンテーション中は自己モニタリングが機能し発話の言い直しや、思考しながら発話を反復する行動が見られ、対話者の発話内容の理解の向上を示唆するコミュニケーション方略が多く見られるようになること、さらにはそれに伴ってエンゲージメントが高まっていることなどが分かった。これらの分析結果に基づき、意味のやり取りを中心に活動展開する教育プログラムの有効性を示す因子を明らかにした。

【③本格的な研究への展開】

今後は、教育プログラムの有効因子をさらに抽出するため多様な国際交流プログラムの分析に研究対象を広げること、教育プログラムのシラバス（目的・方法など）およびラーニングアシスタントの関与などと併せて参加者の動的変容を分析することとし、国際交流プログラムの改善・新規展開を可能にする評価システムの構築を目指す。

【④今後の事業化に向けた展開】

国際交流プログラムの改善・新規展開を可能にする評価システムの開発によって、事業効果における信頼度、ブランディングイメージの向上を図るとともに、行政との関わりを強化し、公・私バランスの取れた学校教育への導入やさらなる導入国・学校数の増加をめざす。

【⑤地域的波及効果】（技術基盤強化等の効果、地域社会・経済発展への寄与）

各国・個人の学習文化・言語力・性格（強み・弱み）に適した学習効果が最も発揮される学習プログラムの開発、サポート体制を構築することで異文化コミュニケーション授業における日本の教育の底上げに貢献する。

